

報城山

発行所 長野市立城山公民館
電話 232-3111
編集人 井澤聖次
発行人
印刷所 富士印刷

管内の世帯数 (26・10・1)
第1地区…2,884
第2地区…5,321
合計…8,205世帯

がついた城山は、もともとは山ではなかったのです。つまり、城山は湖の底だったところが隆起し、河原となった砂利がたまり、その後の何らかの動きで山になったということがわかります。城山だけではなく、当時善光寺平一帯が湖だった時代がありました。長野市豊野地区でその時の地層がよく見えることから豊野層と呼ばれています。この豊野層は、中野から千曲市にまで及ぶ大きな湖だったと考えられています。その後、長野大通り沿いの地下に隠れている活断層の動きで城山が隆起し、山となりました。その東側の三輪地区はさらに沈んでいったのです。

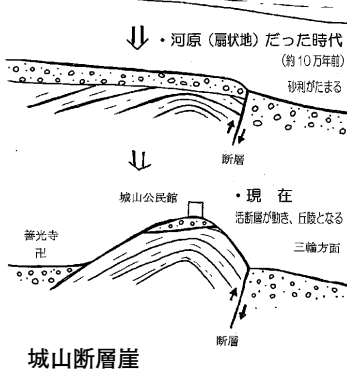
足もとから知る わが町の成り立ち 「城山公民館の地下」連載①



戸隠地質化石博物館 田辺 智隆

長野市の北西にそびえる戸隠山(標高1911m)からは約500万年前のホタテガイ化石が見つかることをご存知でしょうか?戸隠山をはじめ長野市はかつて海底でした。もちろん皆さんのお住まいの善光寺周辺も海底だったのです。しかし、善光寺平を取り囲む山々は海底が隆起したために山となり、逆に善光寺平は沈んでいったのです。武田信玄の「動かざること山の如し」という言葉とは裏腹

に、この大地は今でも大きく動いているのです。その物語の断片が、普段何気なく歩いている市街地の中にいろいろと隠されています。今回の連載では、そうしたたけらを拾い集めて、なぜ善光寺がその場所にあつて、長野市が発展していったのかを大地のおいたちから学びたいと思います。連載1回目は、城山公民館の地下を探ります。公民館の耐震診断の際に、機械を使って地下10m程のボーリングを行い(木製のピンを倒す玉ころがしではありません)地質調査をしました。調べた結果、地下3mぐら



市役所から見た城山

今号から戸隠地質化石博物館学芸員の田辺智隆様に、地質学・地理学的な視点から連載の執筆をいただきます。次回以降の予定は次の通りです。ご期待ください。

- 第2回 箱清水の沼地と堀切沢
- 第3回 城山に大噴水がある理由
- 第4回 善光寺の敷石と郷路山
- 第5回 裾花川の流路変更と地名
- 第6回 ひまわり公園と活断層

平成26年度 7公民館合同 成人式のご案内

城山公民館管内(第一地区・第二地区)の新成人対象の成人式を今年も合同で執り行います。ご出席ください。

1 該当者

平成6年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人

2 日時

平成27年1月11日(日) 受付 午前9時30分、おしゃべり会

式典

10時~10時45分 11時~11時30分

3 会場

ホクト文化ホール (長野県県民文化会館)

4 主催

長野市7公民館合同成人式実行委員会(城山、中部、芹田、古牧、浅川、若槻、小田切の7公民館と管内の住民自治協議会)

5 出席方法

本人の住民票が管内にある人には、12月初旬に案内状を郵送します。また、中学校仲間などで、地区が分かれていた友だちを誘って出席することもできます。案内状の必要な人は城山公民館までご連絡ください。

ふるさとへ心を

西部中学校長

西山 裕一

9月6日(土)の午前中に本校では、「地域公開講座」を開催いたしました。今年度は、城山公民館の井澤館長様、芋井公民館の小林館長様のご理解とご協力をいただいで、新たに5人の講師を紹介していただき、20の講座を開くことができました。私もリコーダーの講座を受け持たせていただきました。



小学生に比べ中学生になると、なかなか親子でも共通の活動をすることは少なくありません。まして、地域の皆さんといっしょになるとかなり限られてしまいます。年に一回ですが「地域公開講座」は、生徒と保護者や地域の方々がいっしょに活動しふれ合うことのできる貴重な機会です。いっしょに作る。分らないことを聞く。いっしょに身体を動かす。いっしょに味わう。いっしょに成果を確かめ

合う…と、ふれ合う中でたくさん笑顔をみることができました。



本校周辺にも残念ながら人口減少の波が押し寄せています。何もしなければ、地域にどんな方が住んでいるのかさえも知らずに通り過ぎてしまいます。しかし、こうしていっしょに活動し五感を通したふれ合いを繰り返すことで、必ずや自分の「ふるさと」として意識することになるでしょう。『あのおじさんがいる』『あのおばちゃんがいる』と想像できることは、帰りたい「ふるさと」になるのではないのでしょうか。この活動をもっともつと地域の皆さまが参加していただける機会にしたい。そして、世代を超えて共に絆を意識し合う場にできるように、コミュニケーションテイスツールとしての輪を広げていきたいと考えております。

気軽にぶらり善光寺さん

来年の御開帳を前に、いつも身近に感じている善光寺を改めて学んで触れて日本文化を体験してもらおうと企画しました。

2回目

(9月22日)は大本願で宝物館見学



と善光寺木遣り。木遣りは会場の雰囲気が一気に変わるほど素晴らしいものでした。

3回目(10月15日)は大勸進で宝物館見学・抹茶体験・絵解きと盛りだくさんの内容でした。どの講座も善光寺についてもっと知りたいという熱心な皆さんと一緒に楽しく学ぶことができました。

1回目(9月17日)は城山公民館で本覚院ご住職・成人学校講師の、小林順彦先生による御開帳についてと戦国武将との関わりなどユーモアを交えたお話し。2時間がとても短く感じられました。

進で宝物館見学・抹茶体験・絵解きと盛りだくさんの内容でした。どの講座も善光寺についてもっと知りたいという熱心な皆さんと一緒に楽しく学ぶことができました。

(職員 平井)

市民講座報告

大当たりでタカ笑い

「タカの渡り観察会」を今年も浅川のボブスレー・リ्यूジュパークで9月20日(土)に開催しました。渡るタカの数はいくつもお天気が任せ。公民館事業としてはバクテリ学的要素が強過ぎますが、あの感動を多くの人に味わっていただきたく



て、今年も賭けに出ました。結果は大当たり。同じ方角を向いて、同じものを観ようと夢中で双眼鏡をのぞいている姿(写真)をご覧ください。

鷹柱 天を押し上げ また増ゆる

一昨年の観察会ですっかり虜になったという方が、「天」をテーマにしたある句会で佳作に選ばれたと報告してくださいました。

こんな身近な穴場に、来年はぜひ一緒にいかがですか。

(主事 長谷川)

あなたを待っています！

—城山館へのお誘い—

私が城山公民館に異動(赴任)して3年半が過ぎました。この地で初めに感じたのは、「この公民館は地区の方々には必要ないのではないか。」ということ。なぜなら、地域公民館等の活動が活発で公民館の目的の一つである「人と人とのつながりづくり」が十分機能しているように見えたからです。

それを助長すべく投入した企画が「城山館」です。講師と受講者を固定化したよくある講座とは一線を画し、「演者」と「お客さん」がどちらも参加者としてお互いに関わり合う、文字通りの「つながりづくり」企画です。

今のあなたの「ありのまま」を披露してみませんか。近くに住む方々の知られざる一面に触れて、ちょっと驚いてみたくありませんか。それをきっかけに新たな交友を広げませんか。

次の演者、次のお客さん、次の参加者は、あなたです！ (主事 長谷川)

湯谷区公民館だより

絆を強める納涼盆踊り大会



学校の生徒さんとのゲームに興じ、盆踊り大会は盛大に盛り上がる。その数凡そ 450 人。

夕日が雲を赤く染め、8月14日の太陽が西山に隠れた。突如、湯谷東公園に「よさこいソーラン」の軽快なリズムが流れ出し、育成会の子どもたちが元気に踊りだす。午後7時、関係者の挨拶で今年の湯谷区公民館主催「納涼盆踊り大会」が開幕した。湯谷区在住の音楽家原山様が作詞作曲した「湯谷音頭」を皮切りに会場を埋め尽くしたお年寄りから子どもまで、前日関係者総出で建てた櫓の上の太鼓の音頭にあわせ、婦人会の皆様、の先導で大きな輪が二重・三重になり踊りだす。大人たちは生ビールで暑さを忘れ、子どもたちは冷えたスイカに舌鼓を打ち、脇に設けられた育成会のお母様方・柳町中学校の生徒さんとのゲームに興じ、盆踊り大会は盛大に盛り上がる。その数凡そ 450 人。

9時の終了時には夜空からは無数の星の雫が垂れ落ちていた。

翌15日は前日に変わって小雨、しかし空の奥には明かりも見え、長居をする雨雲ではなさそうに期待が持てる。小雨の為か前日より少し人出は少ないが、300人は集まっただろうか、前日同様踊りの輪は大きく広がる。残念ながら8時ごろから雨が本格的に降り出し終了。しかし、今年も2日間楽しい湯谷盆踊りが開催できた。

湯谷公民館では、この盆踊りの他に6月には信州の鎌倉「別所温泉ゆつたり旅」に45名が参加、9月には敬老会で117人のお年寄りの笑顔にお会いすることができました。10月には球技大会、人権同和研修会、1月には湯谷塾で災害に備える勉強会を開催します。湯谷区民の絆を強める明るく健康な街づくりの為に湯谷公民館主事一同がんばっております。

(館長 大瀬 秀人)

シリーズ 我が町 桜枝町 区長 西澤 五郎



筆者

私達の町は、善光寺仁王門から西に向かい、西長野町に東西に延びる通りを中心にした町です。町名は古くは「桜小路」と呼ばれ、室町時代応永7年(1400)に起きた大塔合戦の軍記にその名が記され、掲載された内容から善光寺門前の花街であったようです。

やがて江戸時代に移り善光寺町八町の行政庁として、大勸進代官屋敷が町内安良町の地に置かれ、寺領の審議や伝達などが邸内で執行された。因みにこの建物は、昭和50年(1975)頃まで残り、屋敷の東南堀に囲まれた中庭はお白洲で、裁判が行われた。

明治4年(1871)善光寺領が廃止され、これ

れにともない、明治7年(1874)「桜枝町」と改称された。

町は戸隠、鬼無里地区から市街地への玄関口にあたり、西山中で生産された麻、紙、薪炭などの集散地として人や駄馬の往来が激しく、表通りはそうした商いの問屋や小売店が軒を連ね賑わった。特に荷を降ろした馬方衆は、陽の高いうちから、専用の食堂中庭へ馬を繋ぎ、気炎を上げ飲んでいた。

当町出身の文人として、儒学者塚田大峯(1745-1832)は、江戸で儒者の中で「寛政の五鬼」とよばれた。また弟の歌僧慈延(1748-1805)は、京で「平安の和歌四天王」に数えられた。

第二次世界大戦後(1945)は化学繊維の登場による麻製品の需要減や商業圏の移動、さらに大型店の出現など町内の商店街は活気を失い、急激に衰退する。町の古くからの行事として

天神社秋祭に、桜姫(勢獅子)の町内巡行があり、五穀豊穡を祈願し奉納する。長野夏祭「祇園祭、弥栄神社御祭礼」に奉納する屋台はケヤキの白木作りで、天井には龍の彫刻が施されている。明治初期の創建以来、神武天皇像を飾り巡行していたが、さきの大戦後は踊り舞台として巡行している。

平成の世となり、久しく衰退を続けた町にも、廃業した古店舗や空き民家を改装し、若者向きの商品を揃えた店や中国茶館など新しい息吹が感じられる街に変貌しつつある。



桜姫(勢獅子)

第37回 城山公民館成人学校 作品展のお知らせ

歴史と伝統の城山公民館 成人学校の作品展は本年度で37回を迎えます。受講生の熱演や力作の数々を、多くの皆様にご鑑賞いただきたくお知らせ致します。

1期日 平成27年2月28日(土) 3月1日(日)

2時間 午前9時30分～午後3時

3会場 城山公民館本館・別館ホール

4内容(予定) 「展示」洋裁初級、洋画、書道「写経入門」、水彩画上級、書道、日本画、盆栽と盆景、木版画、俳画、着物を取りフォーム、水彩画初級、洋画「人物画」、パッチワーク・キルト、華道初級、書道初級、書道中級

「ステージ発表」太極拳(月・木)、謡曲初級、愛唱歌を楽しむ、レッツ・ダンス、ハワイアンフラ入門、実用英会話入門 「茶道手前」「茶道(火・水)」 「囲碁対局」「囲碁入門」 作品展のチラシは2月の回覧でまわす予定です。皆様のご来場お待ちしております。

城山公民館図書室 新刊図書のご案内

- 『山女日記』 湊 かなえ/著 『緋の天空』 葉室 麟/著
『敗者たちの季節』 あさのあつこ/著 『辛口・幸福論』 曾野 綾子/著
『怪談』 小池 真理子/著 『かわうそ』 あさのあつこ/著
『明日の子供たち』 有川 浩/著 『妻恋坂情死行』 鳥羽 亮/著
『荒神』 宮部 みゆき/著 『火桜が根』 藤本 ひとみ/著

平成26年度 地域公民館主要事業予定 (1月～3月)

※第1地区・第2地区共通 長野市7公民館合同成人式 平成27年1月11日(日) ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)

Table with 4 columns: 公民館名, 1~3月, 公民館名, 1~3月. Lists activities for various branches like 茂菅, 新諏訪町, etc.

あちこちスナツプ. Image of a road sign: 通学路のため、30km以下の思いやりのある安全運転で走行して下さい.

12月の市民講座のご案内. Includes posters for '真珠の古城で版画展' and 'ハーモニカが唄けたらいいな!'.



編集後記 館報前号では、加茂小学校百年事業、城東小学校なかよし石塔、本紙では西部中学校からの発信と学校からの情報が掲載されています。真島小学校百年誌(昭和48年発行)には創立当時の地域の人が子弟に寄せる思いが読み取れます。学校は地域の支持と協力があれば、素晴らしい教育環境になります。また、地域の人々にとっても好ましいもので、そこに住むことを誇りに思う存在でありたいです。(西澤)